

### 3 YouTube動画を埋め込む

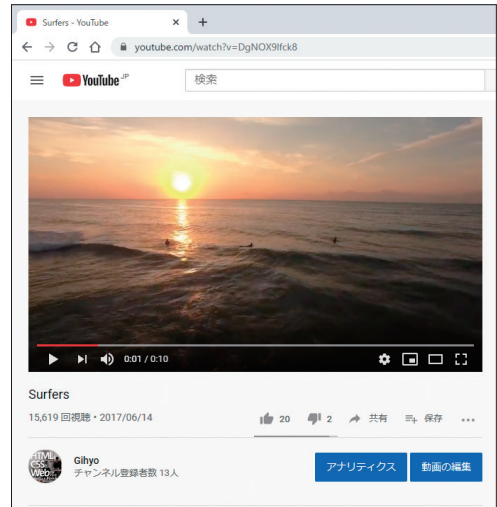
#### STEP 1

#### YouTubeにアクセスする

まずはYouTubeの動画を埋め込むため、埋め込みたい動画のページへアクセスします。サンプルサイトでは

```
https://www.youtube.com/watch?v=DgNOX9lfck8
```

の動画を埋め込みます（ご自身のお好きな動画でもかまいません）。



#### STEP 2

#### 埋め込みコードを取得する

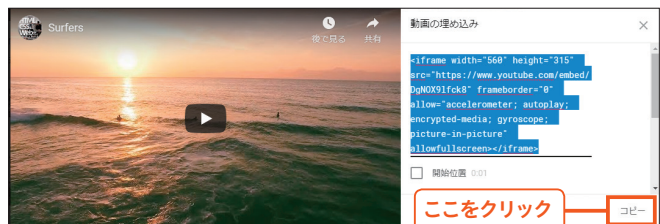
埋め込みたい動画のページへアクセスしたら、動画の下部にある「共有」ボタンをクリックします。右図のようなメニューが表示されるので「埋め込む」をクリックしてください。



#### STEP 3

#### 埋め込みコードをコピーする

動画のプレビュー画面が表示されたら、右側のコードをコピーします。コードを選択してコピーしてもかまいませんが、右下の「コピー」をクリックすると自動でクリップボードにコピーされます。



STEP  
4

## 埋め込みコードをペーストする

Bracketsのコーディング画面に戻り、コピーしたコードをペーストします。貼り付ける場所は、メインコンテンツ内にあるひとつ目のsection要素内のh2要素の下です。

```
30 <h1>Video</h1>
31 <p>これまでに撮影した映像作品を掲載しています。</p>
32 <section id="movie">
33   <h2 class="icon">Movie</h2>
34   <iframe width="560" height="315" src="https://www.youtube.com/embed/
   DgNOX9lfck8" frameborder="0" allow="accelerometer; autoplay; encrypted-
   media; gyroscope; picture-in-picture" allowfullscreen></iframe>
35 </section>
```

```
<h1>Video</h1>
<p>これまでに撮影した映像作品を掲載しています。</p>
<section id="movie">
  <h2 class="icon">Movie</h2>
  <iframe width="560" height="315" src="https://www.youtube.com/embed/
  DgNOX9lfck8" frameborder="0" allow="accelerometer; autoplay; encrypted-
  media; gyroscope; picture-in-picture" allowfullscreen></iframe>
</section>
```

ブラウザで確認すると動画は表示されますが、コンテンツエリアの領域に表示サイズが合っていません。次のステップで調整します。

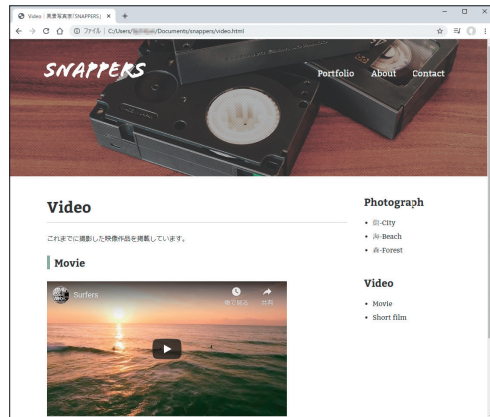
### 【HTMLタグ】

#### <iframe>

文書内に別の文書のコンテンツを埋め込む。インラインフレームという。

【属性】 src 埋め込むページのURLを指定  
ほかwidth、height、name、sandbox、srcdoc、allowfullscreen

【終了タグ】 必須



STEP  
5

## 動画の表示サイズをコンテンツエリアの幅に合わせる

先ほどペーストしたコードをよく見ると、width属性とheight属性が記述されていることがわかります。この値を変更することで、動画の表示サイズを自由に変更できます。

サンプルページでは動画を埋め込むエリアの幅は700pxなので、width属性の値を「560」から「700」に変更します。

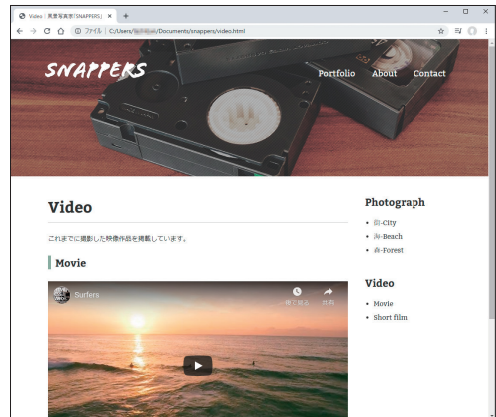
$700 \div 560 = 1.25$ で幅が1.25倍となるため、高さも同じく1.25倍にします。 $315 \times 1.25 = 393.75$ となりますが、小数点以下は

```
30 <h1>Video</h1>
31 <p>これまでに撮影した映像作品を掲載しています。</p>
32 <section id="movie">
33   <h2 class="icon">Movie</h2>
34   <iframe width="700" height="394" src="https://www.youtube.com/embed/
   DgNOX9lfck8" frameborder="0" allow="accelerometer; autoplay; encrypted-
   media; gyroscope; picture-in-picture" allowfullscreen></iframe>
35 </section>
```

切り上げて「394」とします。この値を height属性に入力します。

```
<h1>Video</h1>
<p>これまでに撮影した映像作品を掲載しています。</p>
<section id="movie">
  <h2 class="icon">Movie</h2>
  <iframe width="700" height="394" src="https://www.youtube.com/embed/
  DgNOX9lfck8" frameborder="0" allow="accelerometer; autoplay; encrypted-
  media; gyroscope; picture-in-picture" allowfullscreen></iframe>
</section>
```

ブラウザで確認し、動画の横幅がコンテンツエリアいっぱい（700px）で表示されれば成功です。



## STEP 6

### 2つ目の動画を埋め込む

ひとつ目のセクションと同じように、YouTube動画のページへアクセスして埋め込みコードを発行し、コピーして2つ目の section要素内のh2要素の下に貼り付けましょう。STEP1～5を繰り返します。

2つ目の動画のURLは

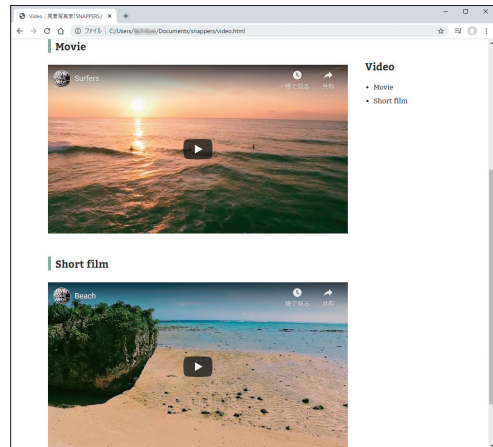
```
https://www.youtube.com/watch?v=NSojQoROjHk
```

です。

```
33 ... <h2 class="icon">Movie</h2>
34 ... <iframe width="700" height="394" src="htt
    frameborder="0" allow="accelerometer; aut
    picture-in-picture" allowfullscreen></ifr
35 ... </section>
36 ... <section id="short-film">
37 ... <h2 class="icon">Short film</h2>
38 ... <iframe width="700" height="394" src="htt
    frameborder="0" allow="accelerometer; aut
    picture-in-picture" allowfullscreen></ifr
39 ... </section>
```

```
<section id="short-film">
  <h2 class="icon">Short film</h2>
  <iframe width="700" height="394" src="https://www.youtube.com/embed/
  NSojQoR0jHk" frameborder="0" allow="accelerometer; autoplay; encrypted-
  media; gyroscope; picture-in-picture" allowfullscreen></iframe>
</section>
```

ここまで入力したらブラウザで確認しましょう。動画が2つ縦に並んで掲載されていれば、video.htmlは完成です。



## COLUMN

### 外部サイトの内容を表示する iframe 要素

YouTubeから発行される埋め込みコードもれっきとしたhtmlコードです。これはiframe要素という要素を使用して記述されています。iframe要素は、現在のページに別のHTMLページを埋め込むための要素で、

YouTubeだけでなく、カレンダーや地図の埋め込み、ブログの最新情報をサイト内に表示させるなど、幅広い用途で使用されています。次章の地図の埋め込みにも登場します。